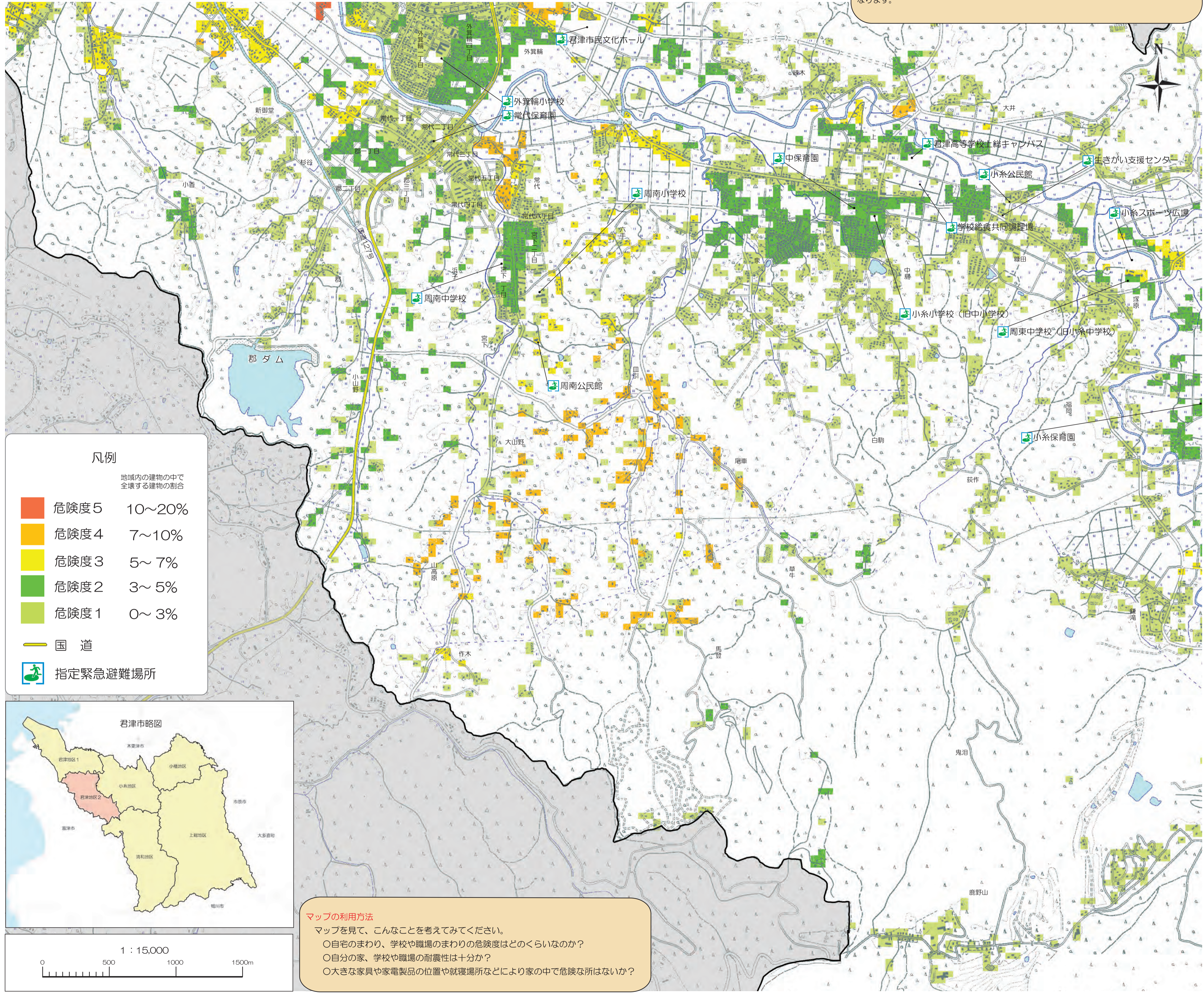


地域の危険度マップ (君津地区2)

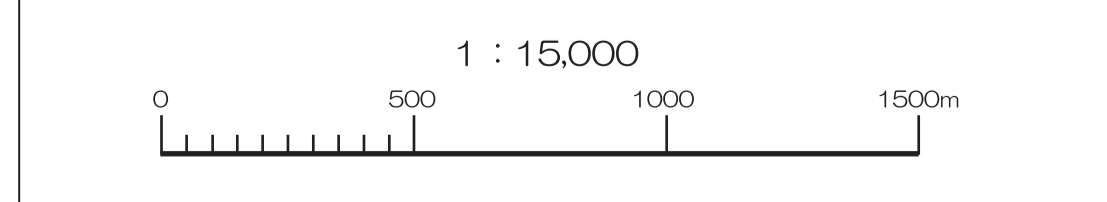


地域の危険度マップとは？
 地域の危険度マップは、地震による揺れによって発生する建物被害の分布を、相対的に表したものです。
 具体的には「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表しています。
 この「危険度」は50mメッシュ単位で分割した地域に建っている建物の中で、全壊する建物の割合により設定しています。危険度の数値が大きくなるほど地域の建物を受ける被害が大きくなります。

凡例
 地域内の建物の中で全壊する建物の割合

危険度5	10~20%
危険度4	7~10%
危険度3	5~7%
危険度2	3~5%
危険度1	0~3%

— 国道
 指定緊急避難場所



マップの利用方法
 マップを見て、こんなことを考えてみてください。
 ○自宅のまわり、学校や職場のまわりの危険度はどのくらいなのか？
 ○自分の家、学校や職場の耐震性は十分か？
 ○大きな家具や家電製品の位置や就寝場所などにより家の中で危険な所はないか？

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平19総復、第695号）

4 建物の耐震化が重要！

- 木造住宅の耐震診断
 木造住宅の耐震性は、主に3つのチェックポイントがあるとされています。
 ■新耐震設計基準（昭和56年施行）に基づき設計されているか。
 ■住宅が過去に大きな災害を経験したことがあるか。
 ■住宅の構造、形、偏って大きな窓がたかくあるなど、耐震に関わる基本的な住宅の性質に問題がないか。
 耐震性の判断には建築の専門知識が要求されます。目立った症状がなくても、耐震診断を受けることが重要です。
 - マンションの耐震診断
 阪神・淡路大震災では、被災したマンションの修理・建て替えを巡る住民相互の合意形成がスムーズに行えないために、住民同士での数回となるケースがみられました。良好な住環境を維持するためにも、早めに耐震診断・耐震補修に取り組むことが必要と考えられます。
 - 住宅の耐震診断や耐震改修を行うには
 木造住宅の耐震化の平均的な費用は約160万円（財団法人建設経済研究所推計）といわれています。実際の施工費用とは大きく異なる場合がありますので、耐震改修を行うためには、信頼できる専門家による耐震診断と設計が必要です。
- 君津市では、住まいの耐震化に関する支援制度を実施し、木造住宅の耐震化を促進しています。詳しくは木造住宅耐震担当 電話0439-56-1158



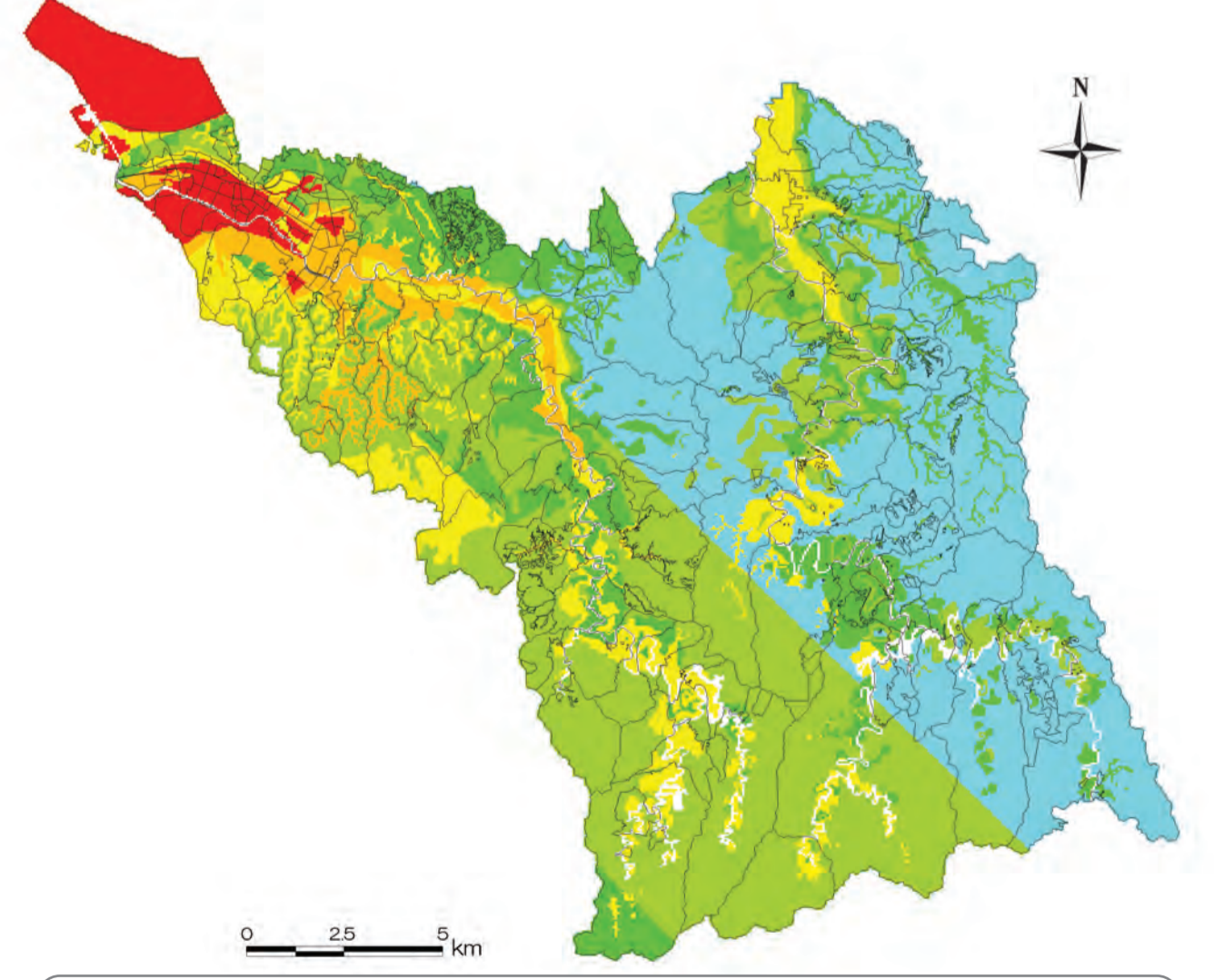
5 家具の転倒・落下防止が重要！

- 家具の転倒・落下防止は住宅の耐震化と同じくらい重要です。住宅の全壊を免れても、ガラスの飛散やタンス等の大型家具の転倒、テレビや電子レンジ等の家電製品が飛んでくるといった、日常生活からは想像できない事態によって、思わぬケガをしたり、避難が遅れて火災に巻き込まれたりすることがあります。
- 背の高い家具や重い家具は、壁に固定するなどして倒れないようにしましょう。背の高い家具は分断式のものがいいので、金具等で上下をしっかり固定しましょう。
 - 食器棚は、扉が開かないように金具等を取り付け、さらにガラスが割れても飛び散らないようにするために、飛散防止フィルムを貼りましょう。
 - 睡眠や食事をする場所に家具が倒れてこないよう、また倒れた家具が入り口のドアをふさがないよう、家具の配置や置く場所を工夫しましょう。
 - テレビやレンジ等は、揺れが強いと飛び出す危険性があるため、バンドで固定する等の対策をとりましょう。



<揺れやすさマップ>

揺れやすさマップとは？
 揺れやすさマップとは、市区を50mメッシュに分割し、メッシュごとに地表での震度を詳細に求め、表示したものです。今回、揺れやすさマップは、地震で想定される最大震度を表示することにしました。つまり、各メッシュで計算された2つの地震の震度の予測結果を重ね合わせて、各メッシュで大きい方の震度を表示したものです。また、ここで表示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さであり、地震の発生仕方によっては、揺れはこれよりも強くなったり、弱くなったりすることがあります。



揺れやすさマップの凡例

震度強弱	震度6強	震度6弱	震度5強
人間	立っていることができず、歩くと倒れることがある。	立っていることが困難になる。	非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感ずる。
屋内	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸がはずれて飛ぶことがある。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。間接的な損傷が多い。	棚にある食器棚、書棚の本の多くが落ちる。テレビが破損、落下する。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなる可能性がある。一部の戸が外れる。
屋外	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが倒れる。	かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	補強されていないブロック塀の多くが倒れる。補強されていないブロック塀の多くが倒れる。多くの壁石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。

防災情報は裏面から続きます。